

座談会の内容について

☆情報保障について

発達障害児などの場合は、毎回、一から説明が必要となる。

- ・器具などを目で見せることが良い場合
- ・器具は見せずに、今日の診察の流れを説明するだけが良い場合
- ・今後の診察について、一通り説明が必要な場合

などそのお子さんによって対応をかえることが大切。

障害児全体をみると、コミュニケーションの大切さが共通している、とのこと。しかしながら、小児歯科で行なっている対応とあまり変わらないので、重度障害をのぞき、一般歯科で予防処置などは可能ではないのか？とお互いの立場で同意見でした。

☆歯科に求められる対応

- ・待たせない
 - ・器具を確認させる
 - ・本日の診療内容を説明する
 - ・焦りや不安を見せない
 - ・歯科医師以外のスタッフも情報共有が必要
 - ・障害者歯科を掲げている歯科の情報提供
- といったことがあげられました。

☆お母さんたちの過去の経験

- ①初めて行った歯科で、受付の対応が悪く、嫌な思いをした。
 - ②小児歯科と看板があがっているのに、泣いた途端、帰ってくれと言われた。
 - ③反対に、開業医だけれども親切に対応してくれ、満足できる歯科医院を見つけることができたので、センターまで行かなくてよくなった。
- など、実際のお母さん方の意見を知ることができました。

☆お母さんたちが必要と感じていること

- ①受け入れ側のマンパワー、焦りや不安が見られると患者も敏感に感じてしまう。
- ②情報がなかなか入ってこない。歯科全般の情報が不足している
- ③歯科医院の選び方がわからない
- ④歯科スタッフと、言語聴覚士(ST)さんが一緒に相談にのってくれる場があるとありがたい、などでした。